

研究報告書『公立学校教員の管理職昇進に関する研究 —「学校教員統計調査」の二次分析による現状把握—』の概要について

1. 調査研究の概要

本報告書は、プロジェクト研究「児童生徒の資質・能力を育成する教員等の養成、配置、研修に関する総合的研究」に設置された「管理職移行時の課題調査チーム」としての研究成果である。本チームでは、学校教員が管理職に昇進する際の課題を探る前提として、学校管理職への昇進状況に着目した。従来よりも深くかつ全体的な現状把握を行うために、文部科学省「学校教員統計調査」の調査票情報¹（生データに近い情報）を二次分析した。

具体的には、次の三つの点を取り上げて、公立の小学校、中学校、高等学校の状況について分析を行った。

①近年における公立学校管理職の年齢層の変化

平成20（2008）年に新設された主幹教諭の導入状況に着目して、年齢分布や昇進した年齢等について比較しながら分析した。

②公立学校における管理職への昇進状況の地域による違い

都道府県単位の地域による昇進年齢の違い等を確認し、地域別の状況を分類した。

③学校管理職に昇進した教員の属性

データから観察可能な様々な属性について、管理職に昇進する確率が相対的に高い又は低い属性について分析した。

【研究期間：平成27～28（2015～2016）年度、研究代表者：大杉昭英（初等中等教育研究部長）】

2. 研究成果の概要

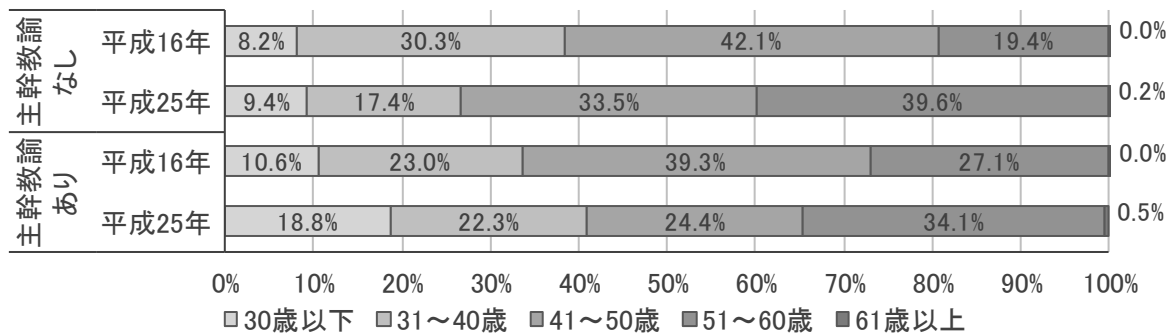
（1）近年における公立学校管理職の年齢層の変化

近年においては、公立学校教員全体としての高齢化傾向が見られる中、若手教員の増加による若返りも始まりつつあるという傾向が、どの学校種でも確認された。このことは、主幹教諭の有無に関係なく見られた傾向だが、特に主幹教諭が導入された地域で顕著に見られた。一例として小学校での状況を示すと、図1のようになる。

これに伴い、どの学校種でも管理職においても高齢化が見られた。ただ、管理職が高齢化する中で、小学校及び高等学校では、主幹教諭を導入した地域では比較的若い層からの登用する余地を残すような管理職の若返り傾向も僅かながら見受けられた。この傾向の一例として、小学校の校長の年齢構成を図2、教頭級（副校長・教頭）の年齢構成を図3で示した。平成25（2013）年時点で主幹教諭が導入されていない地域に比べて導入されていた地域の方が、それぞれの役職での最も若い年齢層（校長では50歳以下、教頭級では45歳以下）での割合は高くなっていた。ただ、中学校では、管理職の若返り傾向を示唆する状況が見られなかった。

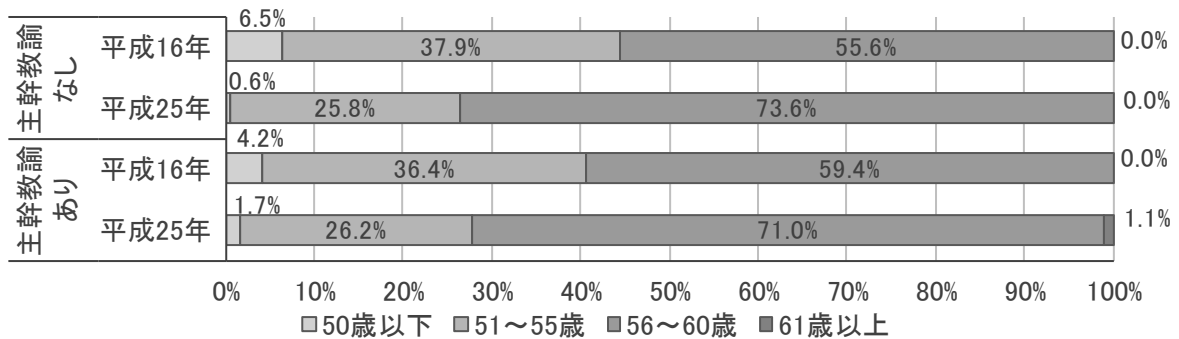
¹ 3年おきの調査であり、今回の研究では平成16（2004）年、平成19（2007）年、平成22（2010）年、平成25（2013）年に調査されたデータを用いた。

図1 小学校全教員の年齢構成の推移（主幹教諭の導入状況別）



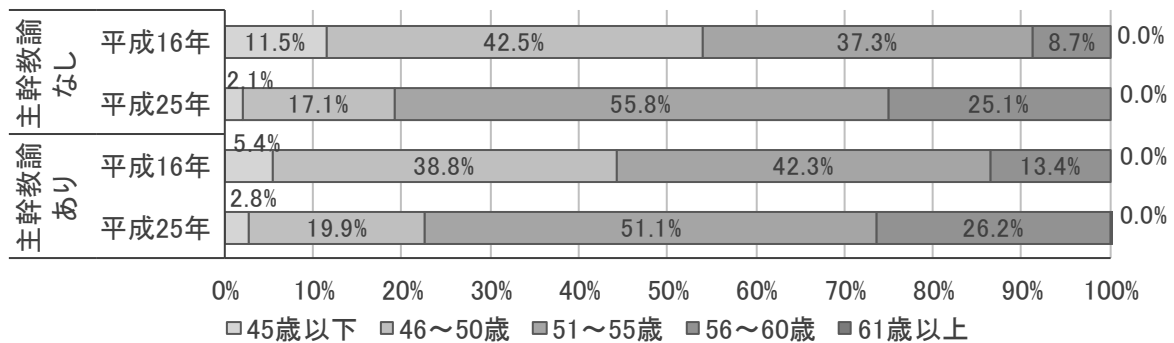
出所：文部科学省「学校教員統計調査」より作成

図2 小学校校長の年齢構成の推移（主幹教諭の導入状況別）



出所：文部科学省「学校教員統計調査」より作成

図3 小学校教頭級の年齢構成の推移（主幹教諭の導入状況別）

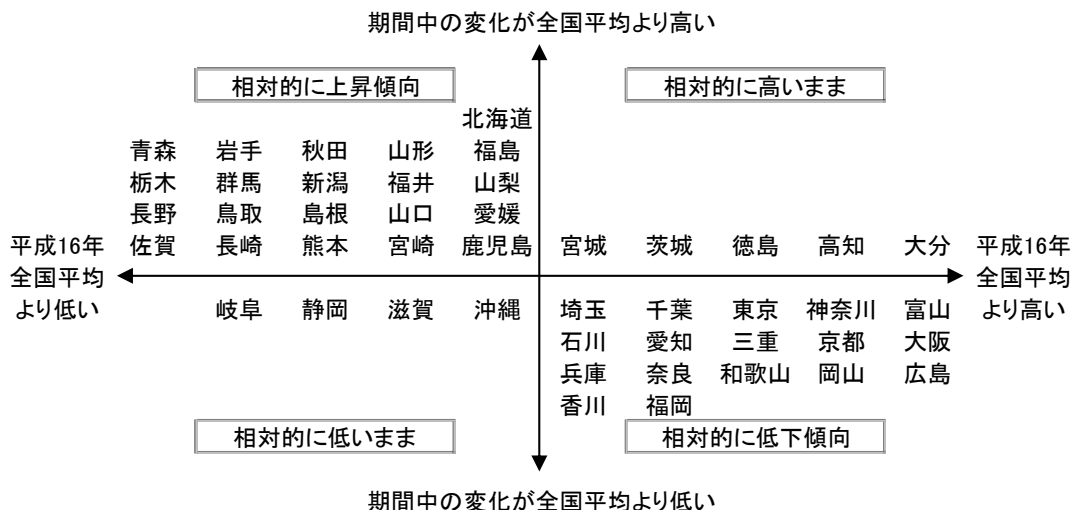


出所：文部科学省「学校教員統計調査」より作成

（2）公立学校における管理職への昇進状況の地域による違い

学校管理職の背景にある全教員の平均年齢の変化状況から、大都市を多く抱える地域では教員の若返りが進んでいた反面、過疎地を多く抱える地域ではこのような教員の世代交代がそれほど進んでいなかったという傾向が大まかに見られた。このことは、どの学校種でも該当していたが、参考例として小学校での地域分類（相対的な位置付け）を図4に示した。

図4 全教員平均年齢の相対的な位置付け（小学校）



出所：文部科学省「学校教員統計調査」より作成
 注：全国平均を基準とした相対的な位置付けを4分類で示したもので、
 各分類の中における都道府県名の位置は順不同である。

また、校長及び教頭級の平均年齢の分布やこれらの役職への登用が始まる年齢層（若年1割平均年齢）の分布から、地域によって様々なパターンが見られることも示された。その中で、それぞれの役職の平均年齢と登用が始まる年齢層との間には、共通したパターンが見られやすいことも明らかになった。

（3）学校管理職に昇進した教員の属性

平成25（2013）年時点における学校管理職に昇進した教員の属性を見るために、ロジスティック回帰分析を行った。その結果から管理職に昇進する確率が相対的に高い属性や低い属性の全国的傾向は、表1のように整理できる。

表1 学校管理職に昇進した教員の属性傾向

	昇進する確率が相対的に高い属性	昇進する確率が相対的に低い属性
小学校	年齢上昇※ 教員養成系大学出身 専修免許保有* 中学校免許併有 高等学校免許併有	女性※ 社会人経験あり 二種免許保有
中学校	年齢上昇※ 教員養成系大学出身 専修免許保有 小学校免許併有 社会科免許保有 保健体育科免許保有	女性※ 社会人経験あり 二種免許保有
高等学校	年齢上昇※ 専修免許保有* 中学校免許併有 数学科免許保有 理科免許保有	女性* 社会人経験あり

注：※付きの属性は、ほぼ全地域に共通して見られることを示し、
 *付きの属性は半数強の地域で見られることを示す。

また、都道府県単位で見た地域別に同様の分析をしたところ、ほぼ全ての地域で全国的な傾向と一致した傾向が見られた属性も一部で見られたものの、全体的に見ると必ずしも全国的な傾向と一致しない属性が多くなっていた。